

# おばあちゃん、ありがとう

富吉 とみよし  
紗希 さき

おばあちゃんが、わたしだけのけいたいでんわをかってくれました。白くて、小さくて、かわいくて、わたしはとても気に入りました。「ひまちゃん」となまえをつけて、だいにしています。

わたしは、さっそくでんわを試してみました。一回ボタンをおしたら、日づけとか、なんじとかをおしえてくれます。二回おすと、なまえがでてきて、三回おすとおばあちゃんにつながります。1、2、3！ まほうのあいずみたいです。あ、かかっちゃった！

一日になん回もおばあちゃんにでんわして、「とまりにいい？」

「いつあそべる？」  
とはなしです。たくさんかけすぎたから、

「一日三回までにしてね。」  
とおばあちゃんがいきました。ざんねんだなあ。

いままでは、ママのけいたいでんわをつかわないと、おばあちゃんとおはなしできなかったけど、これからはいつでもおはなしできるので、とてもうれいす。ママのでんわだと、はずかしくて、てれちゃって、いつもちゃんとはなせなかつたけど、じぶんのでんわだと、すらすらしゃべることができます。

それに、おばあちゃんだけじゃなくて、でんわではなすのがにがてだったほかの人とも、たくさんはなせるようになった。パパからも、はつきりおはなしできるようになったね、と、ほめられてうれしかったです。

1、2、3！ まほうのあいずで、わたしのはずかしいきもちもどこかにいっちゃったみたいです。いつもおばあちゃんとながっているみたいでうれいす。

おばあちゃん、だいすき。どうもありがとう。